

SDGs を意識した教育活動の展 開に出前授業を利用しませんか

高大連携プロジェクト 出前授業メニューのご案内

～ 持続可能な開発のための教育（ESD）と持続可能な開発目標（SDGs） ～

ESD（持続可能な開発のための教育）は、日本の働きかけにより、平成 14 年のサミットで提言され、平成 17 年から 10 年間「国連 ESD の 10 年（DESD）」とすることが国連総会で決議されました。

現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。

ESD とは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人一人が自分にできることを考え、実践していき、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

ESD の理念は、平成 21 年 3 月に告示された高等学校、特別支援学校学習指導要領から盛り込まれています。また、ESD を推進していくためには、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学等の学校教育だけでなく、公民館や博物館の社会教育、地域コミュニティ、NPO、事業者、マスメディアなど、あらゆる場が実施主体となることが望まれています。特に、子供の頃から持続可能な生活を意識し行動することが重要だとされています。

ESD で求められる力は学習指導要領の目指す「生きる力」と重なりが大きく、実践によって生徒の学びが深まることが期待されています。そのため、各教科や総合的な学習（探求）の時間等、学校教育全体を通じて取り組むことが重要とされています。平成 27 年からは新たな「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」がユネスコ総会で採択されました。高等学校においては、令和 4 年度より新学習指導要領が学年進行ではじまります。新高等学校学習指導要領総則においても、改訂の経緯の中において、「一人一人が持続可能な社会の担い手を育む教育」の必要性が述べられています。（埼玉県教育委員会等資料参考）

教育において ESD を推進することは、SDGs（持続可能な開発目標；国連加盟 193 国が平成 28 年から令和 12 年の 15 年間で達成するため掲げた目標）の目標達成に近づくものだと捉えることができます。このため SDGs に多少とも関連があるテーマの教育プログラム（出前授業メニューもこの一つ）への注目度・関心度も今後増してくるものと考えられます。

一方、SDGs に関しては、日本工業大学においても学内外の SDGs 活動成果を学長メッセージと共にホームページに掲載するなど、広報・PR に力を入れているところです。

これらを踏まえ、初めての取り組みとして、今回、高大連携プロジェクト出前授業の各題目につき、17 の SDGs ゴール（及び 169 のターゲット）とのかかわりがあるものを関連度合いのレベルに応じて一覧表にまとめ、高大連携プロジェクトプログラム冊子のご案内に併せて、ご案内することになりました。

出前授業メニューの選定に関しましては、以下を参考に選定いただけます。

〔SDGs ゴールに関連する授業题目的見方〕

- ・ 17 の SDGs ゴールのうち関連するものに対し、下記の記号を標記しています。

SDGs ゴールとの関連性が大きい場合→◎で標記

SDGs ゴールとの関連性が中～小レベルの場合→○で標記

SDGs ゴールに関連する基礎知識・基盤技術に該当する場合→□で標記

上記の◎または○であり、□にも該当する場合→◎□または○□で標記

〔ゴールと関連するターゲットの見方〕

- ・ ゴールの◎、○、◎□、○□が標記されたものについては、さらに関連する 169 のターゲットを標記しています。

なお、今回は、出前授業メニューと SDGs との関連についてのご案内となりますが、授業内容については、SDGs 教育を行うものばかりではなく、従来からの題目に添った教育を中心に行うこととなりますのでご理解をお願いいたします。

* 17 の SDGs ゴールと 169 のターゲットは、下記のホームページから参照することが出来ます。

<https://ungcjin.org/sdgs/> (グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン)

